

Title	史學研究會報告；國史談話會報告；東洋史談話會報告；西洋史談話會報告； 日本西洋史學會大會報告
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1952
Jtitle	史學 Vol.25, No.4 (1952. 9) ,p.118(551)- 120(553)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19520900-0118

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

裨益するところ、すこぶる大なるものがある。よつて著者は文學博士の稱號をうける資格あるものと認める。

昭和二十六年十一月二十六日

主査委員

應義塾大學教授 國史 擔當	文學博士 松本芳夫
經濟學博士 應義塾大學教授 經濟史 擔當	野村兼太郎
文學博士 應義塾大學教授 文學概論 擔當	間崎万里

史學研究會報告

第四〇一回例會 公開講演會

昭和二十六年十一月一七日午後一時 於一〇番教室

松本 信廣氏
西岡 秀雄氏

第四〇二回例會

昭和二十六年十一月二十七日午後二時半 於二番教室

船名とその傳說

四世紀の日本

高輪 清水潤三氏
淳一君

バーリントン教授の研究を中心とした

サミエルアダムス

山根淑子君

第四〇三回例會

昭和二十六年十二月一五日午後一時 於二番教室

神山四郎氏
中山正明君

ランケ史學の根底
イギリス十七世紀の一展開
シナに於ける演劇の基本形式の
形成に至る過程について

橋本光男君

第四〇四回例會

昭和二十七年一月二三日午後二時半 於六番教室

F・V・ハルデンベルクの政治理想とその構造
リンカーンの偉大きについて

大石良雄の人間性

木部昭吉君
高羅駿治君

第四〇五回例會 今宮教授學位受領祝賀會・卒業生送別會

昭和二十七年二月二日午後一時 於一〇番教室

奴隸制度及び南北戦争に對するリンカーンの

考へ方に就いての歴史的考察

作品傾向より見たアメリカ映畫史

ヨーロッパ文學のローマンチック主義運動

中世北歐都市とその經濟

オリヴァクロムウエルの影像

高羅駿治君
藤原侃君
丸山繁郎君
片田惠己君

—清教徒革命を中心とする—

十九世紀ドイツに於ける政治史家に就て

英國憲法史に於ける中世的意義

米國に於けるピューリタン植民地の建設と

その政治思想及び政策

プラトン及びアリストテレスの社會經濟思想

英國浪漫主義思潮

十八世紀ヨーロッパに於ける藝術思想

アメリカジャーナリズムの先驅者達

一七八三年より佛國革命に至る迄の

ピットの外交政策

大石良雄私觀

本願寺と紀州雜賀勢に就いて

—一向一撥に關する一考察—

平將門の亂に關する一考察

加賀一向一だの一考察

曇彌大師の淨土教

雜劇と能樂

第四〇六回例會 新入生觀迎會

昭和二十七年五月七日午後三時 於六番教室

韓子について

彙報

中山 正明君

大室 正明君

田中 磐君

橋本 增吉氏

坂本 滋君

宮崎 武三君

村岡 信子君

堀田 稔君

平島益次郎君

今關 勝成君

木部 昭吉君

沼 浩

森脇 龍也君

第四〇七回例會

昭和二十七年七月三日午後三時 於十番教室

日本書紀の紀年について

中世大學の形成

—Studium Generale を中心として—

國史談話會報告

中山 正明君

大室 正明君

田中 磐君

橋本 增吉氏

坂本 滋君

宮崎 武三君

堀田 稔君

平島益次郎君

今關 勝成君

木部 昭吉君

沼 浩

森脇 龍也君

第四五六回例會

昭和二十六年十二月一日午後一時 於六番教室

福澤諭吉の獨立觀

カーメン・E・プラツカーフ

武田 勝藏氏

佐々木 真君

雨宮 泰君

高輪 淳一君

麻布 弘海君

橋本 光男君

第四六回例會

昭和二七年五月二九日午後五時半 於三田豐岡會館

今宮教授學位受領祝賀、西岡秀雄氏ハーバード大學國際ゼミナ

ール出席送行、卒業生送別、新入生觀迎を兼ねて懇親會を催す。

（中等部製作）を觀る

村山 光一氏

郷里制について

スライド考古學遺物 映畫「上代彫刻」及び「湖畔の貝殻山」

東洋史談話會報告

史

昭和二七年一月二十四日 於山食教職員食堂

「坐をめぐる諸問題」

中國古代の坐を中心として、廣く東亞各地のシャーマニズムの本質について追求された。

西洋史學會報告

五月十日午後一時より 於五番教室

ランケの歴史認識をめぐつて

第十四世紀初頭の英國憲政史上の一問題

尙、六月四日、十四日、七月七日の三回に恒り、第三回日本西洋史學會大會の研究會が行はれた。

日本西洋史學會大會報告

日本西洋史學會第三回大會は五月二十三・四の兩日本塾三十二番教室に於いて開催せられた。二十三日午前、午後、二十四日午後には

ルートルと宗教改革運動
ギリシャ史の一隅に立ちて
原 隨園

兩氏の公開講演が二十三日夕刻より學生食堂に於いて懇親會が行

はれ、夫々多數の參會者を得た。
研究發表會、並びに演題は次の通り（敬稱畧、發表順）

ランケ史觀の克服をめぐつて

ランケのオブティミズムについて

ウルカギナ王の圓錐碑文Bの性格について 中原與茂九郎（京大）

前九・八世紀のキリスト

ギリシヤ文化生成の問題

ブルタークの政治訓について

ヨーク條令の一考察

古代クリスト教の戰爭觀

ブルデンティウスと異教

古代末期に於けるガリア社會の一考察

カトーの農耕誌を中心として

中世に於ける奴隸制度

中世に於ける自由農民について

中世に於ける大學の自由

西洋中世都市の自治機構

中世末期に於ける國家權力の形成について 堀米庸三（北大）

プラウンシュワイヒ公の宣言

田中 正義（神大）

島田雄次郎（東大）

今來 陸郎（九大）

十河 佑貞（早大）

豊田 義（京大）

讚井 鐵男（慶大）

バブーフの思想

パリトコムミューヌ内亂の性格

伊藤 清司氏

神山 四郎（慶大）

村岡 哲（山形大）

杉 勇（教育大）

村田數之亮（阪大）

水川 溫二（名大）

森岡敬一郎（慶大）

秀村 欣二（東大）

長友榮三郎（宮崎大）

増田 四郎（一橋大）

祇園寺信彦（東北大）

尾鍋 輝彦（茶大）

田中 正義（神大）

島田雄次郎（東大）

今來 陸郎（九大）

十河 佑貞（早大）

豊田 義（京大）

讚井 鐵男（慶大）